

## 観光立市推進に向けた取り組みについて



令和5年(2023年)10月20日

文化スポーツ観光部観光課

## 1 観光立市を推進する目的

（「横須賀市観光立市推進アクションプラン 2023-2025」（以下「後期アクションプラン」）P 1 抜粋）

- ・ 観光をきっかけとした交流人口を増やすことが重要であり、それにより多くの人の来訪や市街からの新たな投資や新たな企業などを呼び込むことができ、地域経済に好循環を創り出すことが可能になると考えています。
- ・ さらに、新たな街の魅力やイメージを定着させて横須賀の価値を高めることにより、街を誇りに思う市民や、横須賀に住んでみたいと思う人が増えていきます。
- ・ このように、観光を通じた地域経済の活性化により税収の増加に繋がっていけば、市民の福祉の充実に資することになります。

## 2 「音楽・スポーツ・エンターテインメント」について

（「後期アクションプラン」P 3 抜粋）

- ・ 「横須賀再興プラン 2018-2021」では、①海洋都市、②音楽・スポーツ・エンターテインメント都市、③個性ある地域コミュニティのある都市の3つの方向性に基づき、数多くの取り組みを行いました。
- ・ これまで、新たな観光客層を獲得するため、横須賀にある自然、歴史、文化など、多彩な魅力を持つ地域資源と「音楽・スポーツ・エンターテインメント」を融合させることにより、本市の新たな魅力を創造・発信しています。
- ・ 「音楽・スポーツ・エンターテインメント」を推進する理由  
年齢や性別、国籍などの属性に関係なく、誰もが親しみを感じられるコンテンツであり、また直接心に訴えることができ、誰にでも響くコンテンツであるため。
- ・ 「音楽・スポーツ・エンターテインメント」の各分野と本市の関連や強み

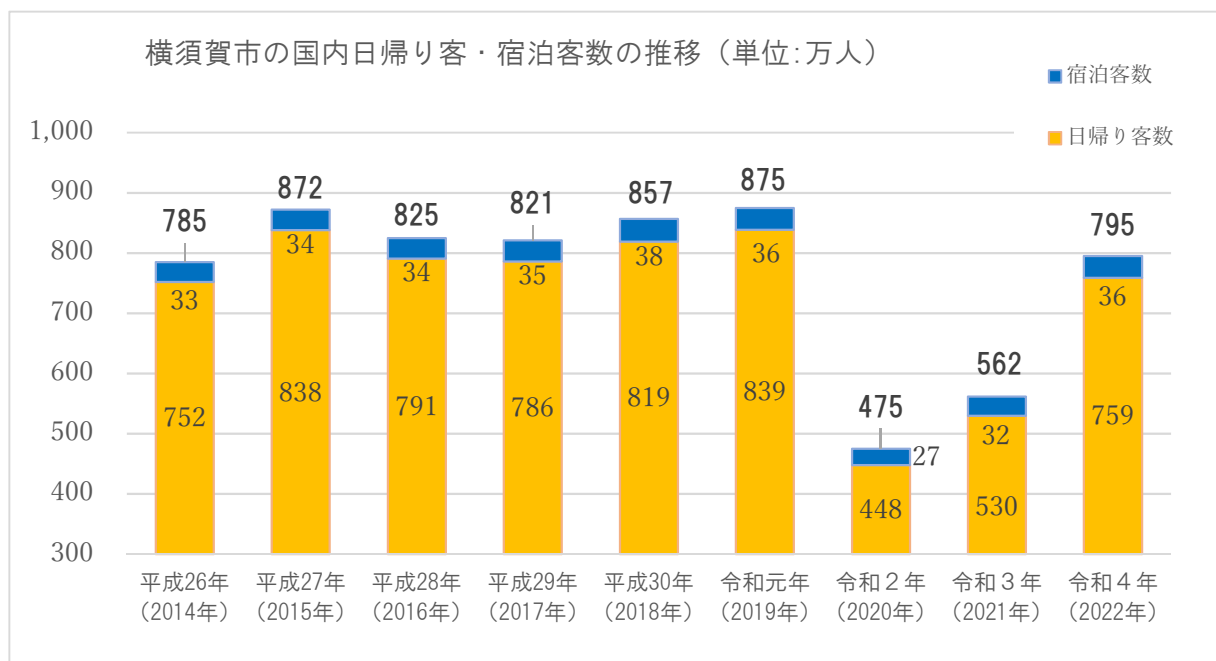
分野	本市の関連や強み
音楽	ジャズ発祥の地としてのルーツ
スポーツ	ベ이스ターズ、マリノス、ウインドサーフィン、アーバンスポーツなどの新たな可能性
エンターテインメント	アニメやゲーム、音楽配信会社とのコラボレーションや、これまでの実績の積み上げによる強み

### 3 観光立市推進に向けた現状と課題

#### (1) 本市の国内観光客数、観光客消費額の動向

##### ①国内観光客数

- ・新型コロナウイルス感染拡大前の国内観光客数は、計画期間当初の平成26年の785万人から堅実に増加していました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年は前年を大きく下回る475万人と大きく落ち込みました。
- ・令和3年の観光客数は562万人で、前年から若干持ち直しており、昨年（令和4年）の観光客数は795万人と、前年から大きく増加しました。  
この795万人は、ピークの令和元年(875万人)のおよそ9割に当たるとともに、平成26年の観光客数を上回る数値であることから、本市に訪れる観光客数は着実に回復していると考えています。



(単位：万人)

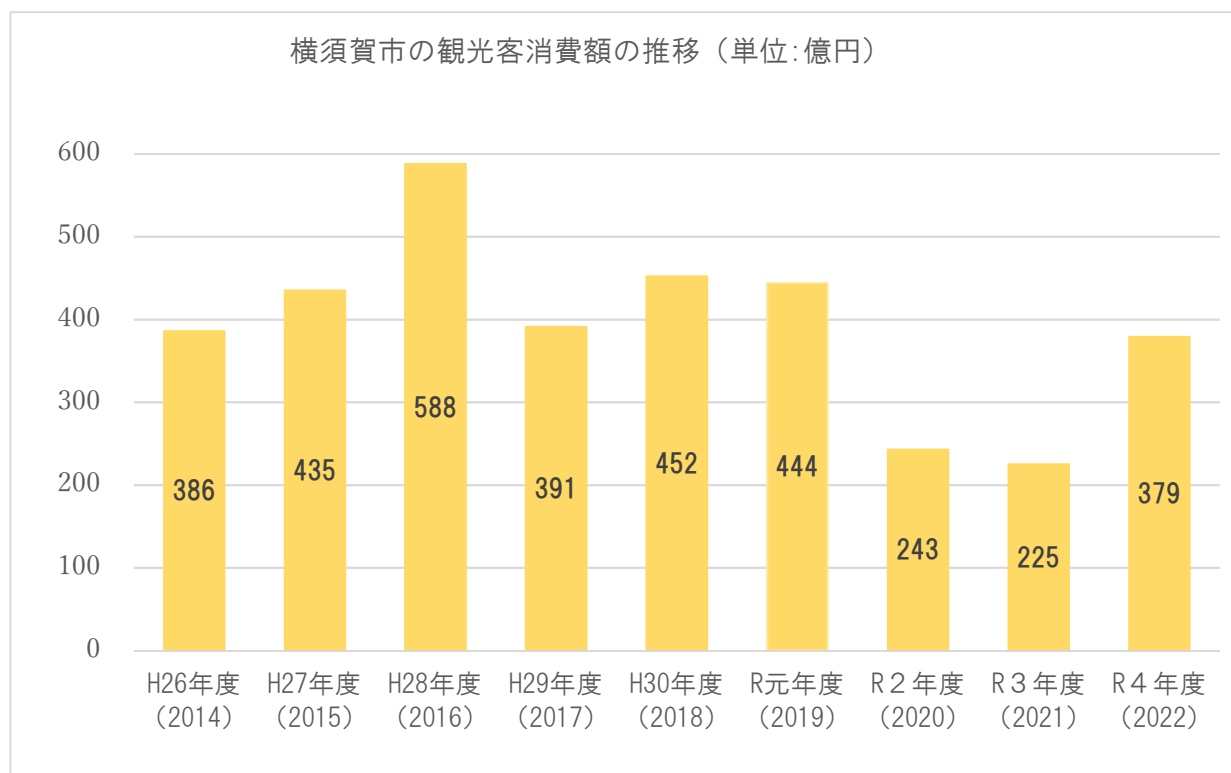
	H26年 2014年	H27年 2015年	H28年 2016年	H29年 2017年	H30年 2018年	R元年 2019年	R2年 2020年	R3年 2021年	R4年 2022年
日帰り客数	752	838	791	786	819	839	448	530	759
宿泊客数	33	34	34	35	38	36	27	32	36
合計	785	872	825	821	857	875	475	562	795

(参考)

観光立市推進アクションプラン (前期：2017年度～2021年度) 令和3年目標値	日帰り客数	906万人
	宿泊客数	44万人
	合計	950万人
観光立市推進基本計画 令和7年目標値	日帰り客数	950万人
	宿泊客数	50万人
	合計	1,000万人

## ②観光客消費額

- ・平成 26 年度の観光客消費額は 386 億円で、令和元年度は 444 億円でした。しかし新型コロナ感染拡大の影響により、令和 2 年度、3 年度は令和元年度から大きく減少した 243 億円、225 億円となり厳しい状況が続いていました。
- ・しかし、令和 4 年度は 379 億円と平成 26 年度の数値（386 億円）近くまで回復しており、観光客数とあわせて着実に回復していると考えています。



(単位：億円)

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
観光客消費額	386	435	588	391	452	444	243	225	379

(参考)

観光立市推進アクションプラン (前期：2017 年度～2021 年度) R 3 年度目標値	595 億円
観光立市推進基本計画 R 7 年度目標値	636 億円

## (2) 後期アクションプランの重要業績評価指標 (KPI) の推移

### ◇重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値	目標値 (令和7年度)
	実績値	
横須賀美術館展覧会の観覧者数 横須賀美術館の展覧会を観覧した年間の総数	127,077 (基準値) (H29年度～R元年度平均)	141,000人
	142,690人 (令和4年度)	
ティボディエ邸の入館者数 1年間の来館者数の合計	59,394人 (基準値：令和3年度)	150,000人
	57,663人 (令和4年度)	
浦賀レンガドックへの来場者数 新規イベントや観光ツアー等の来場者数の合計	18,000人 (基準値：令和3年度)	70,000人
	32,196人 (令和4年度)	
ソレイユの丘（長井海の手公園）の 来園者数	70万人 (基準値：令和3年度)	100万人
2023年度リニューアル後の年間来園者数	43万人 (令和4年度)	
大規模音楽イベントの来場者数 各会場の来場者数の合計	－ (基準値)	20,000人
	(実施は令和5年度から)	
ストリートダンス大会の来場者数 大会の出場者と観覧者数の合計	－ (基準値)	8,000人
	4,763人 (令和4年度)	
ホームタウンチームの選手の学校訪問や イベント参加の回数	34回 (基準値：令和2年度)	50回
ホームタウンチームの選手やコーチが小学校・ 幼稚園・保育園・こども園に訪問した回数	59回 (令和4年度)	
ウインドサーフィンワールドカップの 観覧者数	86,000人 (来場者31,000人/ 視聴者55,000人) (基準値：令和4年度)	100,000人
BMXフリースタイルジャパンカップの来場者数 大会期間中の延べ来場者数	9,700人 (基準値：令和4年度)	15,000人
よこすか野菜がメディアに取り上げられた 件数	7件 (令和3年度)	15件
市が行う、メディアに向けたよこすか野菜の PR・情報発信に対し、取り上げられた件数	11件 (令和4年度)	
関係団体への補助件数	3件 (令和3年度)	6件
よこすか海の幸魅力発信事業における、補助の 実施件数	5件 (令和4年度)	

### (3) 観光立市推進に向けた課題

#### ① 観光客の男女比 (「後期アクションプラン」P8、P10 抜粋)

- ☆ 軍港やカレー、近代歴史のイメージが強いためか、平成 28 年度調査では、本市を訪れる観光客の男女比はおよそ 7 : 3 でした。全国的な観光地の男女比はおよそ 4 : 6 ~ 5 : 5 であるため、ほかの観光地と比べると男性の割合が圧倒的に高い状況でした。(男性 71.3%、女性 28.7% : 平成 28 年度実施の横須賀市観光マーケティング調査結果より)
- ☆ 令和元年度の調査では、男性 64.9%、女性 35.1%で男性の割合が高い傾向が続いていますが、女性の割合が増加する傾向が読み取れます。  
引き続き女性やファミリー層、外国人も含めた多くの方への新たなアプローチが必要と考えています。

#### ② 平均消費単価について (「後期アクションプラン」P12、P13 抜粋)

- ☆ 日帰り客の割合が圧倒的に高いことや、単価の高いお土産や飲食が少ないことにより、平均消費単価が少ない状況が続いています。

◇宿泊・日帰り観光客の平均消費単価 (神奈川県観光客消費動向等調査報告書より)

		横須賀市 ※ 1	鎌倉市	横浜市	箱根・ 湯河原地区
令和元年度	日帰り	4,646円	5,799円	5,660円	5,857円
	宿泊	15,011円	41,919円	24,409円	29,644円
令和3年度	日帰り	3,428円	5,273円	4,904円	5,535円
	宿泊	13,857円	27,166円	29,289円	50,375円
令和4年度 ※ 2	日帰り	3,997円	3,787円	4,480円	4,765円
	宿泊	12,223円 ※ 3	21,342円 ※ 4	25,162円 ※ 5	27,207円 ※ 6

※ 1 三浦半島 (鎌倉地区以外の平均消費単価)

※ 2 令和4年度分より、平均消費単価のエリアが変更になった。

※ 3 三浦半島エリア [横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町 : (従前と同じ)]

※ 4 湘南エリア [鎌倉市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町]

※ 5 横浜・川崎エリア [横浜市、川崎市]、

※ 6 箱根エリア [箱根町、湯河原町、小田原市、真鶴町]

◇宿泊・日帰り観光客の割合 (神奈川県入込観光客調査報告書より算出)

		横須賀市	鎌倉市	横浜市	箱根町
令和元年度	日帰り	95.8%	98.3%	87.3%	77.3%
	宿泊	4.2%	1.7%	12.7%	22.7%
令和3年度	日帰り	94.4%	95.9%	82.1%	81.2%
	宿泊	5.6%	4.1%	17.9%	18.8%
令和4年度	日帰り	95.5%	97.1%	85.3%	80.1%
	宿泊	4.5%	2.9%	14.7%	19.9%

## 4 観光立市推進に向けた取り組みについて

### (1)「後期アクションプラン」の5つの実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 02 横須賀でお金を使いたくなるモノ、コトの創出
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション
- 05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

### (2) ルートミュージアムを核とした観光周遊や賑わいの創出

#### ①メグルプロジェクト2023 の開催

該当する実行方針
01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
02 横須賀でお金を使いたくなるモノ、コトの創出
03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
04 効果的なプロモーション
05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み



浦賀レンガドックを中心とした地域や、サテライトなどの観光資源・歴史資源を活用し、市内外からの集客による地域の活性化を目指します。また、浦賀の歴史の知名度や魅力、ポテンシャルの発信により地域の価値を高め、将来のまちづくりにつなげていきます。

今年度は、ペリー来航170周年をフックに以下の内容で計画を進めています。

令和5年度	7日間〈令和5年9月23日～10月9日の土日祝〉 目標来場者数30,000人以上、目標満足度95%以上
-------	--

#### (参考)

令和3年度 27日間〈令和3年10月23日～令和4年1月23日の土日祝〉  
来場者数16,208人、満足度98%  
【第15回産業観光まちづくり大賞・観光庁長官賞 受賞】

令和4年度 10日間〈令和4年11月12日～12月11日の土日祝日〉  
来場者数25,126人、満足度92%  
※11月23日は荒天のため中止

#### (ア) コンセプト

浦賀ドックが“幕末”になる！ペリー来航の170年前へタイムスリップ



## (イ) 主なコンテンツ

(新＝新規、拡＝拡充)

新：スペクタクル・ショー

新：ドローン花火ショー

新：案内人と行く浦賀歴史クルーズ

(浦賀ドック→川間ドック→  
千代ヶ崎砲台跡)

新：リアル幕末偉人スタンプラリー

(偉人に扮した会場内仕掛け)

新：EVトウクトウクツアー

(移動も楽しむ千代ヶ崎砲台跡ガイドツアー)

拡：全編英語版・浦賀港周遊歴史満喫ツアー



## ②ティボディエ邸の活用

### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

ルートミュージアムの中核施設として、横須賀市内のサテライト等を紹介・PRし、市内の観光客の周遊促進に向けた拠点機能・観光案内機能を担っています。

令和4年度は、年間約5.7万人の来館があり、横須賀の歴史が体感できる臨場感あふれるシアターのほか、アテンダントが来館者一人一人のニーズにあわせた丁寧な案内をすることで、市内の周遊に寄与しています。

### ◇令和5年度の取り組み (新＝新規、拡＝拡充、継＝継続)

新：ペリー来航170周年に合わせて制作した黒船来航新作映像の公開

拡：新作映像の周知PRのイベント等の実施

拡：シアターの映像上映回数増

拡：ヴェルニー公園で開催されるイベントとのタイアップ

新：ティボディエ邸への案内誘導サインの設置

新：ティボディエ邸の案内冊子の作成

継：子どもや親子を対象にしたバスツアーや講座





### ③ルートミュージアムの周遊促進

#### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

令和5年度から市の奨励金を活用した、市内の観光周遊に取り組む事業者の事業が始まりました。本市の課題でもある二次交通の解消に向けて、今後も民間企業と連携した取り組みを推進していきます。

#### (ア) 新たな周遊の主な取り組み

- ・「横須賀市内で発着する着地型市内周遊ツアーの運行」（6月9日～）  
近隣エリアをターゲットに、気軽に参加できる新たなツアーを造成  
【事業者：株式会社はとバス】
- ・「よこすかルートミュージアム タクシー配車促進プロジェクト」（6月12日～）  
割引クーポン配布で、サテライト間移動のスポット需要に対応  
【事業者：Uber Japan 株式会社】
- ・「シェア型 E-BIKE を使った市内周遊の促進」（7月中旬～）  
スポーツタイプの電動アシスト自転車で中長距離の移動が可能に  
【事業者：株式会社サンオータス】
- ・「横須賀東海岸を”もういちど知る”海の旅」（10月中旬～）  
観音崎を中心としたサテライトを繋ぐ海上交通の企画ツアーを造成  
【事業者：株式会社トライアングル】
- ・「京浜急行バス三笠循環系統活性化施策」（11月頃～予定）  
特別乗車券を作成して、中央エリアの観光が便利に  
【事業者：京浜急行バス株式会社】
- ・「観光タクシーの造成と活用 ～タクシーで巡るよこすか～」（11月頃～予定）  
新たに5コースを造成し、観光担当のドライバーがおもてなし  
【事業者：横須賀三浦総合無線組合】

#### (イ) 奨励金の概要

名 称： よこすかルートミュージアム周遊促進事業奨励金

対象事業： ・移動手段を含む新たな市内観光周遊を促進する事業であること  
(全て必須) ・当該年度に新たに実施する事業であること  
・翌年度以降も継続を目指す事業であること

対象期間： 令和5年5月下旬（交付決定日）～令和6年2月29日

補助金額： 対象事業の実施にかかる直接経費の1/2の額（上限500万円）

#### ④新たな観光コンテンツの造成

##### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 02 横須賀でお金を使いたくなるモノ、コトの創出
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション
- 05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

##### (ア) 観音崎を核としたコンテンツ（再掲）

移動そのものを楽しめるコンテンツとして、三笠～猿島～第二海堡～観音崎を繋ぐ新たな海上交通が動き出します。また、新たに開業したラビスタ観音崎テラスとも連携したツアーも造成され、観音崎地域の新たな魅力が創出されます。

##### (イ) 市内発着型バスツアー（再掲）

横須賀市内で発着する着地型市内周遊バスツアーが初めて造成され、都内等での発着では参加しにくかった県内在住・県内宿泊者や市民が効率的に市内観光できるコンテンツとして加わりました。

##### (ウ) 新たなにぎわい創出事業補助金

特に夜間・早朝といった、これまで集客に結びつかなかった時間帯のにぎわいを創出するための補助金を令和5年度に新設しました。継続的なにぎわいの創出に向けて、今後も民間企業と連携した取り組みを推進していきます。

##### ◇補助金の概要

名 称 : 新たなにぎわい創出事業補助金

対象事業 : ・本市の観光資源を活用した新たな事業

- (全て必須) ・市内外から多くの参加者が見込まれ、横須賀市内で行う事業
- ・翌年度以降も継続的な実施を目指す取り組み
  - ・市内事業者1社以上が事業に関わり所定のアンケートを実施
  - ・「夜間・早朝」区分で行う場合には、概ね18時（日没後）～翌9時の時間を2時間以上含めること

対象期間 : 令和5年7月（交付決定日）～令和6年2月29日

補助金額 : ①昼…補助率1/2、上限10,000千円、下限1,000千円

②夜間・早朝…補助率2/3、上限10,000千円、下限1,000千円

##### ◇補助金採択事業 ※実施時期順

事業者	概要
1 (一財)シティサポートよこすか 【夜間・早朝】 8月5日～9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マジックアワー（夕暮れ時）を活かし、猿島を起点とした新たなにぎわいを創出</li> <li>・ビーチで多彩なイベントを開催</li> <li>・猿島滞在後のポートマーケット誘導、市内飲食・宿泊などの情報を提供</li> </ul>

2 (株)トライアングル 【夜間・早朝】 9月23日～10月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦賀ドック周辺を活性化するプログラムをMEGURU Projectで実施</li> <li>・フル英語の開国歴史クルーズ、川間ドック見学ツアー、千代ヶ崎砲台跡見学ツアー など</li> </ul>
3 東京湾フェリー(株) 【夜間・早朝】 11月22日～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しらは丸を黒船モチーフにラッピング</li> <li>・黒船来航の歴史を辿る特別クルーズ など</li> </ul>
4 コースカベイスайд ストアーズ 【夜間・早朝】 11月頃～予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汐入駅前～コースカのイルミネーション</li> <li>・軍港めぐりナイトクルーズ など</li> </ul>
5 (株) 日比谷花壇 【昼】 12月頃～予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソレイユの丘で有名キャラクターとコラボした企画を実施</li> <li>・閑散期となる12月から春にかけて実施し、にぎわいを創出</li> </ul>

## ⑤横須賀美術館の活用（令和4年度～）

### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション

横須賀美術館をこれまで以上にまちづくりや賑わいづくりにも活用するため、横須賀美術館の所管が、令和4年度から教育委員会から市長部局へ移りました。

これにより、絶景のロケーションや建物全体が美術作品とも言われている美術館そのものや、さらには市長部局の幅広いネットワーク等も活用しながら、より発信力や集客力の高い企画を展開し、さらなる集客を目指します。

このように美術館を活用することにより、より多くの人に美術館を知っていただき興味を持っていたくことで教育普及へと繋げるとともに、社会教育施設（学習、コミュニティ、文化交流の場）としての役割もこれまで以上に果たしていきます。



### ◇今年度（令和5年度）について

「ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき」展から「日本の巨大ロボット群像」展まで、多彩な企画展を年間6回行うほか「アートでつなぐ山と海」をキーワードに箱根の美術館と連携して行う「明日への祈り展ラリックと戦禍の時代」をはじめとした年間4回の所蔵品展、関連するイベント等を行います。

また、教育普及事業として展覧会関連のワークショップなども開催予定です。

## ⑥まちなか活性化事業（令和４年度～）

### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 02 横須賀でお金を使いたくなるモノ、コトの創出
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション
- 05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

プロスポーツチームとの連携、観光資源や歴史の活用など、各地域の活性化の芽を商業振興につなげるため、商店街等が行う各地域の特色を生かした取り組みを支援します。

### ◇今年度（令和５年度）について

コロナの影響が長引き、商店が疲弊しているなかで地域の行事が復活しつつありますが、数年ぶりの開催のため経費、人手とともに厳しい状態です。

時期を逃さず、活性化の芽を育てるため、補助率を昨年度の１／２から拡充し、２／３として補助を行い、まちの賑わい、経済の活性化を促します。

#### ・追浜地域のスポーツを活用した商店街事業補助金

DeNA ベイスターズのファーム施設「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」を活用し、地域の振興、新規顧客の獲得につなげる活動へ補助を行います。

#### ・久里浜地域のスポーツを活用した商店街事業補助金

横浜F・マリノスの練習拠点の整備に合わせ、地域一体で応援する機運の醸成と、来場するサポーターの地域周遊、リピーター化を図るための活動へ補助を行います。

マリノスと共同開発した「F・マリノスKURIHAMAKAREE」を発売。久里浜駅周辺の店舗で発売中です。

#### ・衣笠地域の歴史を活用した商店街事業補助金

大河ドラマを契機として高まった三浦一族への注目を生かし、歴史を活用したにぎわいづくりや販促活動等に対して補助を行います。

#### ・浦賀地域の地域資源を活用した商店街事業補助金

浦賀レンガドックや千代ヶ崎砲台跡などの資源を活用して行うにぎわいづくりや販促活動等に対して補助を行います。

### （３）音楽やダンス、エンターテインメントによるにぎわいの創出

音楽やダンス、エンターテインメントが日常的に街なかにあふれているワクワクするまちを目指していきます。

#### ①ヨコスカ街なかミュージック支援事業（平成30年度～）

##### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

04 効果的なプロモーション

常に音楽にあふれたワクワクするまちを目指し、ヨコスカ街なかミュージックを実施しています。ロックやジャズなどさまざまなジャンルの音楽が楽しめる大規模なイベントの開催など、街なかをステージとした音楽ライブの場を創出します。

#### ◇今年度（令和５年度）について

ヨコスカ・ジャズ協会がドブ板通りを中心に開催している「横須賀トモダチジャズ」と連携し、中心市街地で大規模なジャズロック・フェスティバルなどを開催予定です。

#### ◇昨年度（令和４年度）について

- ・音楽ライブ・イベント（オンライン配信含む）

58回開催

視聴数 約7,147,000回

- ・ヨコスカ街なかピアノの設置管理

3台（横須賀モアーズシティ モアーズストリート、ヴェルニー公園、市役所1階市民ホール）

演奏者数 延べ約58,000人





## ②「猿島アートプロジェクト」の実施（令和元年度～）

### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション
- 05 滞在時間の延長や宿泊につなげられる取り組み

夜の猿島を会場として、街の明かりや音から切り離された特異な空間を活かした質の高いアートプロジェクト「Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島」の開催により、都市魅力の向上と長期的な観光消費への寄与および都市活力の維持向上につなげます。

令和2年ドバイ万博 日本館クリエイティブ・アドバイザーや、令和7年大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクターを務め、日本のアートシーンを牽引する齋藤精一氏をプロデューサーとして、令和元年度から開催しています。

コロナによる影響や、船の運航、乗船定員等により来場者数は限定されますが、森美術館、東京都美術館などのアート関係者、カルチャーやファッション等のメディア関係者、文化活動が盛んな各国大使館等から高い評価を集めています。

### ◇今年度（令和5年度）について

これまでの開催を踏まえ、令和6年度のリニューアル開催に向けた検討を行います。また、次回開催に向けたプレイベントとして、トークイベントやワークショップ、音楽やパフォーマンスを実施予定です。

### ◇昨年度（令和4年度）について

第3回を開催

会期：11～12月（うち15日間開催）

※GOOD DESIGN AWARD 2022 受賞

来場者数3,457名（チケット購入者、内覧会、視察含む）



令和3年度の様子

(JIKU#004\_v2022 SARUSHIMA/ 齋藤 精一  
(Panoramatik)/2021年度作品)



令和4年度ポスター

### ③「ダンスプロジェクト」の推進（令和4年度～）

#### 該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション

アーバンスポーツによる新たな地域ブランディングとして、全国規模のストリートダンス大会の誘致やダンスに取り組む子どもたちの支援（発表の場の提供、講師の派遣など）を行うことで、「アーバンスポーツのまち 横須賀」としての魅力を向上することを目指しています。

#### ◇今年度（令和5年度）について

全国規模のストリートダンス大会や高校生ダンス大会を拡大、継続開催するとともに、市内のジュニア世代の底上げを目的に、ジュニアダンス大会を新たに開催する予定です。

#### ◇昨年度（令和4年度）について

（ア）ダンス大会及び高校生全国大会の誘致、開催  
（ダンス大会開催実績）

##### ▼「JAPAN DANCE DELIGHT」横須賀大会

平成6年より続く、日本で最も伝統ある全国規模のストリートダンス大会で、全国4都市で開催されていた地区大会の5都市目として新たに横須賀大会を新設しました。（令和4年度が初開催）

##### ▼「高校ストリートダンスグランプリ」 予選大会2回、決勝大会1回

新たに横須賀で立ち上げた、高校生対象の全国規模のダンスコンテストで、予選大会、決勝大会をすべて横須賀で実施しました。また、決勝大会の様子は、日本テレビ系列の番組「行列のできる相談所」で放送されました。

（イ）屋外でのダンスパフォーマンス

（ウ）横須賀オリジナルダンスの披露（ダンス発表の場の提供）

本市出身のEXILE メンバーで、横須賀盛り上げ大使である橘ケンチ氏とEXILE TETSUYA 氏が、横須賀の子ども達を盛り上げたいとの思いから制作し、無償提供してくれた横須賀のオリジナルダンスを自衛隊国際観艦式2022ヨコスカパレード等の大規模イベントで披露しています。



「JAPAN DANCE DELIGHT」令和4年度ポスター



高校生ストリートダンスグランプリ



#### (4) スポーツによるにぎわいづくり

4大スポーツのさらなる活用や、子どもたちが一流の選手たちと触れ合い、豊富にある選択肢から自分に合ったスポーツを選択することができる環境づくりを推進し、スポーツを横須賀ならではの地域資源に成長させることで、地域のにぎわい創出やスポーツによる地域課題の解決を目指します。

##### ①ホームタウンチーム活動推進事業（平成30年度～）

###### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

追浜の横浜DeNAベイスターズ、久里浜の横浜F・マリノスを核として、市民がプロスポーツチームを身近に感じられる環境を活かした取り組みをプロスポーツチーム、民間企業、地元商店街など、地域と連携しながら実施することで、スポーツを地域に根付かせ、一過性のもので終わらせない横須賀ならではのスポーツを核としたまちづくりのさらなる推進及び地域の活性化を図ります。

##### ◇今年度（令和5年度）について

昨年度実施した取り組みを継続するとともに、追浜・久里浜両地域においてホームタウンチームのデザインを取り入れた街なかの装飾を実施するなど、「スポーツのチカラ」で地域を盛り上げていきます。



市内幼稚園への野球ふれあい訪問

##### ◇昨年度（令和4年度）について

###### （横浜DeNA ベイスターズファームチーム）

- ・新入団選手歓迎式の実施（10名）
- ・市内幼稚園へのdiana、球団マスコット、ふれあいコーチによる野球ふれあい訪問（3園）
- ・秋季トレーニングでの観覧席無料開放の実施
- ・「横須賀市×DeNAベイスターズ×京急電鉄」三者連携イベントの実施
- ・「横須賀スタジアムに遊びに行こう」（市内小中学生無料観戦）の実施
- ・現役選手と触れ合える「キッズベースボールフェスティバル」の実施
- ・小、中学校や特別支援学校での「青星寮カレー」給食の提供（約24,000食）

###### （横浜F・マリノス）

- ・マリノス練習場「F・Marinos Sports Park」の供用開始（令和5年1月）
- ・（一社）F・マリノススポーツクラブと連携した地域創生事業の実施  
巡回スポーツ教室（24校6園 56回 1,774名）  
SHIBA-Up（人工芝片を新たなスポーツ用品にリサイクルする取組）
- ・横浜F・マリノスがあるまちとしての環境づくり  
マリノス練習場までの道のりにある電柱等へのラッピング  
市道4688号線の道路愛称を「久里浜F・マリノス通り」に設定
- ・横浜F・マリノス応援献立「フェイジョアード」を学校給食で提供（約24,000食）

## ②ウインドサーフィンワールドカップの誘致（平成29年度～）

### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

世界最高峰の大会であるウインドサーフィンワールドカップを、平成29年度から津久井浜で開催しています。また、ウインドサーフィンの大会や合宿の誘致、ジュニアアスリートの育成などを行い、マリンスポーツのまちとしての発展を図ります。

### ◇今年度（令和5年度）について

ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会を令和5年11月に開催予定。

### ◇昨年度（令和4年度）について

令和4年11月11日（金）～11月15日（火） 津久井浜海岸

参加選手 29か国 90人

観覧者数 86,000人（来場者31,000人/視聴者55,000人）

ワールドカップ開催をきっかけとして、全日本フリースタイルトーナメント津久井浜大会の開催、小学校5・6年生を対象としたウインドサーフィンアカデミーの開催、パリ五輪からウインドサーフィン種目になるIQフォイルの強化練習会の実施など、マリンスポーツのまちとしての仕掛けづくりを進めました。



## ③BMXフリースタイルジャパンカップの誘致（令和2年度～）

### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

若年層に人気があり、エンターテインメント性が高く、アメリカ発祥で横須賀のイメージにも合うBMXなどのアーバンスポーツによる地域活性化に取り組んでいます。今後も、アーバンスポーツを文化として根付かせ、アーバンスポーツの聖地として若者が集うまちとなることを目指して、取り組みを進めていきます。

### ◇今年度（令和5年度）について

「マイナビJapanCup Yokosuka」が国際大会に格上げされ、令和5年6月2日（金）～4日（日）に、うみかぜ公園にて開催しました。

その他、アーバンスポーツの普及事業として、学校訪問4回、体験会4回、デモンストレーション2回を予定しています。

#### ◇昨年度（令和4年度）について

（マイナビJapanCup Yokosuka）

令和4年7月22日（金）～24日（日）うみかぜ公園

来場者数：延べ9,700人

令和4年4月に一般社団法人全日本フリースタイルBMX連盟（JFBF）と「アーバンスポーツを活用した連携協定」を締結し、7月には自治体として全国で初めて「JapanCup」を誘致・開催しました。

また、BMXを中心としたアーバンスポーツを普及するため、トップアスリートによる市内小学校への訪問や体験会、イベント会場でのデモンストレーションなどを実施し、アーバンスポーツの魅力を広めてきました。



令和4年度マイナビ JapanCup Yokosuka

#### ④eスポーツ事業（令和元年度～）

##### 該当する実行方針

01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用

03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信

eスポーツの聖地化を目指し、令和元年12月から「Yokosuka e-sports Project」をスタートしました。高校生を中心とした大会の開催や教育支援、普及振興のほか、市内のeスポーツ拠点の整備に取り組んでいます。

大会の開催だけでなく教育面にも重点を置いた施策は、eスポーツに先進的に取り組む自治体として注目を集めています。

#### ◇今年度（令和5年度）について

eスポーツの全国大会や世界大会の誘致に繋がるよう、大会規模の更なる拡大や、eスポーツに関わる人々による地域コミュニティの創出、および新たな文化が定着することを目指して取り組みを進めていきます。

今年度は全国高校生向けのeスポーツ大会「第4回YOKOSUKA e-Sports CUP」を開催しました。また令和5年5月10日に、産学民官連携のYokosuka e-Sports Partners 制度を立ち上げ、現在は学校11校、団体36団体が参画し、eスポーツのさらなる普及・振興に取り組んでいます。



◇YOKOSUKA e-Sports CUPについて

- ・第4回（予選：令和5年8月26日、決勝：令和5年9月9日）  
タイトル：VALORANT（69チーム参加）  
視聴数：108,688回（Youtube、Twitch、ミラー配信含む）  
※大会はすべてオンラインで開催、視聴数は令和5年9月現在

YOKOSUKA  
e-sports  
PARTNERS

Yokosuka e-Sports Partners  
制度ロゴマーク



第3回大会の実況の岸大河さん（左）と  
解説のyueさん（右）

⑤メタバース事業（令和5年度～）

該当する実行方針

- 01 観光の核となる地域資源の創出や磨き上げ・活用
- 03 民間事業者とのコラボレーションによる新たな魅力の発信
- 04 効果的なプロモーション

近年話題性が高まっているメタバースを活用し、先進自治体としてのPRや観光地としての認知度の向上、本市の魅力発信を図ります。

また、市民がデジタルコンテンツに興味を持つきっかけを作り、デジタル人材の育成にもつなげます。

◇今年度（令和5年度）について

3Dデータ化したスカジャンやグルメなど横須賀らしいアイテムの配布や、「ドブ板通り」「三笠」「猿島」など観光スポットのワールドを公開するとともに、ワールド内でのライブイベントなどを実施します。

また、市内学生などを対象に、メタバースで利用できる3Dアイテムの作成講座を開催します。

